知る 学ぶ 遊ぶ 天竜川ひろば

天竜川に関する施設の情報をお届けします。

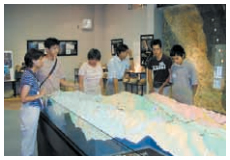
大鹿村 中央構造線博物館

下伊那郡大鹿村大河原988　TEL 0265-39-2205　→中面イラストマップ内 E

中央構造線が真下に走る博物館。

小渋川と青木川の合流点の近くにある「大鹿村・中央構造線博物館」。関東から九州まで日本列島を縦断する大断層“中央構造線”に関する展示を行っている、珍しい博物館です。館内には、断層の一部をはぎ取ったものや様々な岩石の標本、地形地質模型など、貴重な資料が展示されています。

敷地内では本物の中央構造線の上に立つことができます。



地球の歴史を語弁に語りかける、標本や模型。

窓からのぞむ風景も展示物のひとつ。

建物の真下には中央構造線が走っているため、岩石の色や材質が異なる構造線独特の風景を見ることもできます。気さくな館長さんが、分かりやすくていねいに説明してくれるので専門知識がなくても大丈夫。自然の驚異やロマンにふれるひとときを気軽にお楽しみください。

すぐ隣は民俗資料館「ろくべん館」。

博物館の隣には、大鹿村の歴史と民俗文化を紹介する民俗資料館「ろくべん館」があります。館内には、民家、生活用具、農機具などを展示。国の無形民俗文化財である大鹿歌舞伎についても紹介しています。

歌舞伎見物で食べた1人用の弁当「ろくべん」が名前の由来。

●開館時間／AM9:30～PM4:30
●休館日／毎週月・火曜日、12月28日～1月3日（4月～11月の祝祭日は開館）
●入館料／大人500円、中高校生200円（民俗資料館「ろくべん館」にも入館可）
◆ホームページ http://www.osk.janis.or.jp/~mtl-muse/

飯田市 天竜川総合学習館「かわらんぺ」

飯田市川路 7674 番地　TEL 0265-27-6115　→中面イラストマップ内 F

秋からも楽しい講座がいっぱい！

「かわらんぺ」では、この秋も子供から大人まで参加できる講座が続々登場します。水辺の自然や文化、歴史を楽しく体験するチャンスです。

先生の手元を見つめる目はみんな真剣です。

●講座スケジュール

10 月

18日（土）「クリスマスリースの土台作り」AM9:00～AM11:00
19日（日）「花を生ける」PM1:30～PM3:00［大人対象］
25日（土）「秋の草花」AM9:00～AM11:00

11 月

1日（土）「かご作り」AM9:00～AM11:00
8日（土）「鉱山めぐり」AM9:00～PM4:00［大人対象］
18日（火）「秋の星座と流星」PM6:30～PM8:00
22日（土）「秋の鳥」AM9:00～AM11:00
29日（土）「クリスマスリースの飾りつけ」AM9:00～AM11:00

12 月

6日（土）「天竜川の流れた跡をみる」AM9:00～AM11:00
13日（土）「凧を作る」AM9:00～AM11:00
20日（土）「お正月の用意をする」AM9:00～AM11:00

クリスマスリースのできあがり！手作りの楽しさを知りました。

●開館時間／AM9:00～PM5:00
●休館日／毎週月曜日および祝日の翌日
◆ホームページ http://www.tenjo.go.jp/kawaranbe/

天竜川の仲間たち

天竜川で活躍する団体からのお知らせ

市民団体 天竜川ゆめ会議

皆さんこんにちは。「市民団体天竜川ゆめ会議」です。私たちは、「天竜川みらい計画」の実現に向けて活動している市民団体です。「天竜川みらい計画」とは、天竜川に関心がある流域住民がそれぞれの意見を出し合い天竜川の未来像を描いたもので、「環境」「利用」「治水」「流域住民の意識」の4本の柱で成り立っています。活動としては、フォーラム・講座の開催、各種委員会・協議会への参加といったことから、河原でのバーベキューなどさまざま。先日は飯島町社会福祉協議会からの依頼で子供たちに川についての講義を行ったほか、一緒に浜松でウミガメの放流に参加して来ました。

地域住民と河川行政関係者による座談会の様子。

我々は少しずつでも天竜川がよくなるよう、これからも活動していきます。川に関するイベントなどがありましたら、声をかけてください。ご協力いただします。

また、一緒に活動する仲間を随時募集しています。「天竜川みらい計画」や「天竜川ゆめ会議」に興味のある方は事務局へお問い合わせください。

アカウミガメの放流では子供たちの笑顔が印象的でした。

〒399-4117 駒ヶ根市赤穂南14616-33
（有）緑地計画内
TEL 0265-83-7744　FAX 0265-83-7745
Eメール yume@tenryugawa.org

国土交通省
天竜川上流河川事務所

●みなさまからの情報、ご要望などをお待ちしています。
天竜川上流河川事務所「天竜川通信」係
〒399-4114 長野県駒ヶ根市上穂南7-10
TEL 0265-81-6411　FAX 0265-81-6421
Eメール tenjyo@cbr.mlit.go.jp
次号は平成16年3月発行予定です

●ホームページで天竜川の様々な情報を発信しています。
ホームページアドレス
http://www.cbr.mlit.go.jp/tenjyo/

本紙は、再生紙を使用しています。

Tenryu River Times

笑顔、きらきら、天竜川。
天竜川上流河川事務所

天竜川通信

2003 autumn vol.2

「天竜川通信」では、四季折々の自然、遊び、川を舞台にした活動、新しいニュースなど、天竜川の魅力再発見につながる情報をお届けします。
天竜川を“見る”“遊ぶ”“学ぶ”“体験する”ツールとして、ぜひお役立てください。

ほんのり赤く染まる川面。見事な紅葉が描く、秋の情景です。

マツタケ

長野県は全国で第1位の産地

長野県のマツタケ生産量は、なんと1全国第1位（平成14年度実績）。豊石村や飯田村などでは、9月下旬から10月下旬まで松茸料理が楽しめます。

りんご

色、味、サイズ。どれも個性的！

黄緑色の「王林」、密たっぷりの「ふじ」、酸味がさわやかな「紅玉」、最高クラスの大きさ「世界一」など、信州のりんごは個性派ぞろい。

栗

野菜？それとも果物？

答えは栗鉤。その歴史は古く、なんと縄文時代の遺跡でも栗が発掘されました。食用として栽培とされ始めたのは奈良・平安時代から。

天竜川は今が食べごろ

市田柿

豊穣の秋を知らせる風物詩

秋になると高森町の家の軒下に吊るされる「柿すだれ」。天竜川から昇る濃い朝霧によって柿は甘い粉をつけ、甘い干し柿になります。

そば

アルプスの水が育んだ、ナチュラルフード

信州そばは奈良時代の昔と言われる伊那谷にて、新そばの季節がやってきました。おいしくてヘルシーでローカロリー。清らかな風土が育んだ健康食です。

川で食べる！

食欲の秋がやってきました。天竜川流域では、今、秋の味覚がたわわに実っています。
河原でキレイな風景を見ながら食べると、おいしさもまた格別。
澄んだ空気も一緒に召し上がれ。

河原でバーベキューをしよう！

伊那名物ローメンをアウトドアでもぜひお試しあれ。

【作り方（一人分）】
1 手軽にキャベツを炒め、蒸し麺を加えて炒める。
2 しょうゆ（大さじ1）、砂糖（少々）、豚骨スープ（カップ1.5）を注ぐ。
3 フタをして5～6分間蒸す。
4 ニンニクや酢で味付けたら出来上がり！
※ソース味も美味です

知っておきたいルールとマナー

たき火をする時に気をつけること。

木の根元、草の上では絶対にたき火をしないこと。また、火は水で完全に消し、石は元にもどしましょう。

ゴミの分別・持ち帰りは、当たり前！

ゴミの分別持ち帰りは常識です。缶はつぶす、食材を残さないなど、ゴミを減らす工夫も忘れずに。

川を汚さないための食器の洗い方。

“洗う前にふき取る”“洗剤は使わない”“川で流わない”。炊事場などが無い場合は、家に持ち帰って洗いましょう。川を汚さないために、守ってほしいルールです。